

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
「うなぎ」といえば「一色」地区

平成27年2月

愛知県西尾市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区内人口	人	12,895	12,866	12,835	確定	△	あり	12,938	H26年4月	○	一色北部地区計画を都市計画決定したことにより造成の機運が高まり、道路や下水道整備による事業効果が発現され人口増につながったと考えられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路や下水道整備により、一色北部地区の居住環境が向上し、地区内人口の目標値に至った。本地区においては事業期間中(平成24年度)に一色北部地区計画が都市計画決定されるなど居住環境の改善が図られているため、これら計画と連携して今後もさらなる居住環境の向上を目指す必要がある。
指標2	地区内通学路の歩道設置率	%	57	61	61.1	確定	○	あり	63.2	H26年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	通学路内の歩道設置により、小学生の安全確保に貢献した。
指標3	緑の公園整備の不満足度	%	35.7	23.7	27.6	確定	△	あり	32.4	H26年7月	△	未だ地区内では公園が不足しており、また、公園整備に対する認知度が不足している。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「一色北部地区計画」と連動した道路整備により居住環境の一層の向上を図るとともに、地区内の公園の配置について検討する必要がある。また、公園施設についての市民への十分な周知と施設を活用した活動プログラム等のソフト施策の展開が必要である。
指標4	主催者として参加する市民の数	人	463	613	625	確定	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本事業によるイベント開催により、市民の地域ブランドに対する意識向上につながり、主催者側の参加者が増加した。
指標5	長期避難者の避難所収容率	%	65.1	94.9	98.4	確定	○	あり	97.9	H26年7月	○	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域交流センター整備事業により、一色南部小学校区における長期避難者の避難所収容率が増加した。
指標6	地域交流センターの施設利用者数	人	24,346	29,802	31,497	確定	○	あり	30,284	H26年12月	○	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本事業により、地域住民の交流機能が向上し、地域交流センターの利用者数が増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地域文化広場(公園、地域交流センター等)の有効活用	地域文化広場の利用促進について、下記のとおり実施した。 ・地域交流センターのホールにおいて、フラダンス、チアダンス、エアロビクスなどの講座を行った。またホワイエについて今までは利用申請が必要であったが、誰でも自由に無料で利用できるスペースにした。 ・公園施設では地元商工会主催で「商工まつり」を開催し、特産品・日用品の即売会や商工会の女性部会によるバザー等を実施した。	・ホールで軽運動の講座を実施したことにより利用者層の拡大が図られ、利用者数が増加した。また、ホワイエについても利用申請を不要としたことにより利用の促進が図られ、利用者が増加した。 ・公園施設で「商工まつり」を実施したことにより、利用者の増加が図られたとともに、施設の整備についても周知することができた。	今後も地元協議会、周辺の事業者、住民等との協働によるイベントを開催することにより、地域住民のみならず地域外の住民にもPRすることで認知度の向上を図るとともに、地域文化広場において継続的な講座の開催などの利用促進を図る。
	継続的な地域ブランドの向上	地域ブランド力活用事業について下記のとおり実施した。 ・平成26年6月7日、8日に「第6回三河一色うなぎまつり」を開催した。	・継続的にイベントを開催することにより、ブランド普及協議会やうなぎ研究会など、市民が中心となった各種団体による自主的な活動が展開されており、地域ブランド(うなぎ)に対する愛着醸成と意識向上につながってきている。	・今後も継続的なイベント開催を行うことで、市民によるブランド力向上と地域活性化を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	一色北部地区における定住人口の維持に向けた継続的な居住環境の改善	地区内の道路整備について下記のとおり実施した。 ・池田一色1号線の一部について道路整備をした。 ・一色27号線、一色28号線の沿道地権者に対して、一色北部地区計画に基づく道路整備方針について説明会を行った。	・道路整備をしたことにより、周辺住民の利便性が向上し、居住環境が改善され、人口の定着につながった。 ・地区内で説明会を実施したことにより、道路整備に対する理解が得ることができ、事業の促進につながった。	・今後も一色北部地区計画と連動した道路整備を行うことにより、居住環境の一層の改善を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
地域文化広場の利用促進に向けた新たなイベント等の実施	地域文化広場において地元協議会や周辺の事業者によるイベントが開催されているが、さらなる利用を促進するため、地元住民主体の防災訓練や避難訓練など、避難施設としての認知度を高めるとともに、継続的なイベントの開催により、交流スペースや公園施設としての認知度の向上を図る。	H27以降	取り組みを継続していくための支援体制を確立する必要がある。